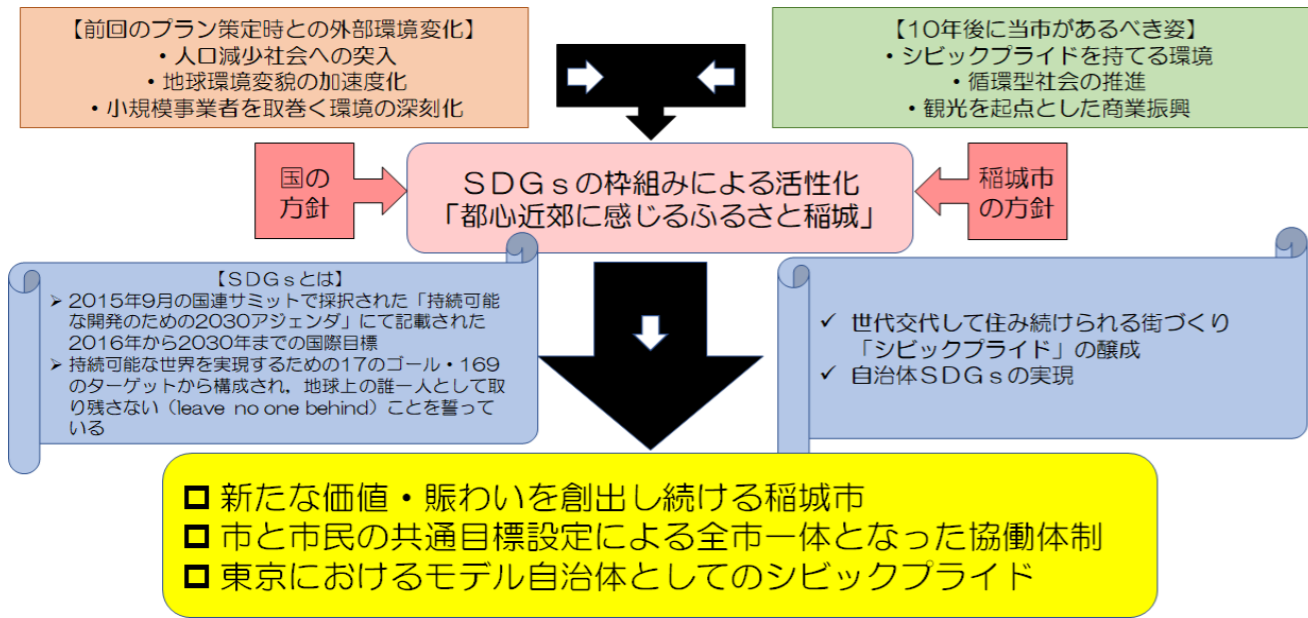


# 【目指すべき将来像】



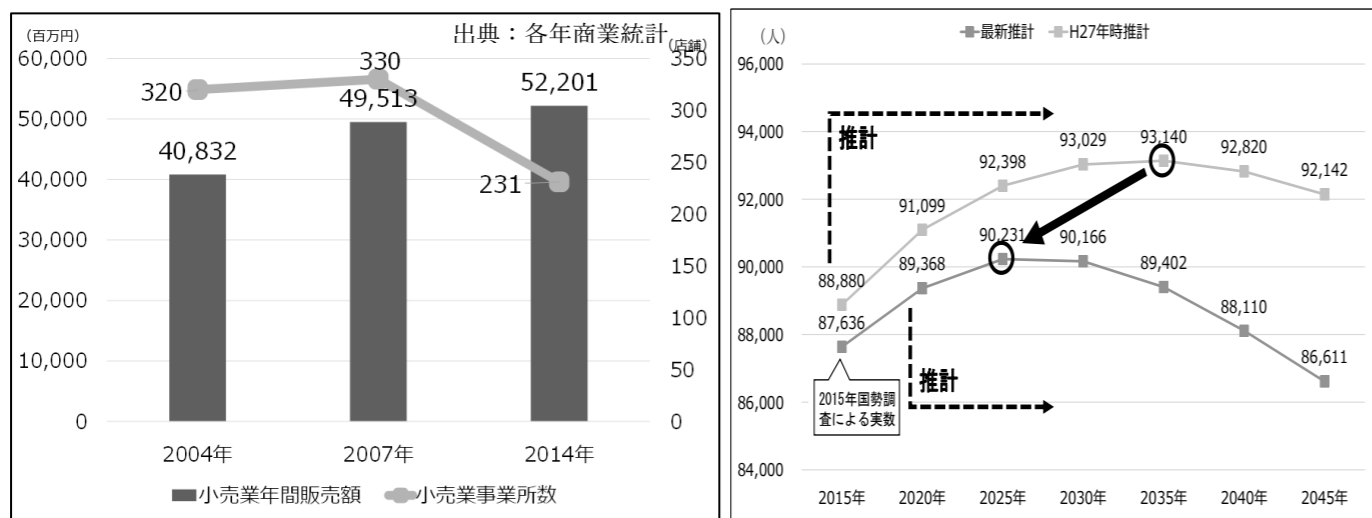
# 稲城市商業活性化プラン ダイジェスト版

本プランにおける「商業」とは、一般に広義の商業と呼ばれる範囲とし、稲城において行われる小売卸売業だけでなくサービス業（観光業、エネルギー関連産業、金融業など）を含むものとします。同時に、「活性化」とは、本書執筆時に国や稲城市においても政策目標として掲げているSDGs(Sustainable Development Goals/持続的な開発目標)をふまえた、一時的な活性化を実現するものではなく、継続的・持続的な効果のある稲城市の事業活動の活発化と捉えます。



## 商業活性化プランの概要

- 第1章：商業活性化プランの前提  
本プランの前提となる商業活性化の考え方、計画期間等について記載します。
- 第2章：稲城市商業活動の現状と分析  
令和元年12月現在における人の動き等の各種統計情報の確認、また各種分析を行います。
- 第3章：商業活性化に向けた課題  
現状を踏まえたうえで、課題となるものが何か、また、どういった方針で課題解決に繋げていくか、についてまとめます。
- 第4章：商業活性化に向けた提言  
現状や課題を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の観点から事業者支援と活性化プランの具体的な提言について記載します。
- 第5章：プランの実行体制等の提言  
本内容を実際に遂行するためには、とりまとめる体制やリーダーシップの存在が不可欠となりますので、その内容について記載します。
- 第6章：将来像について  
本内容を実現することで目指す将来像等について記載します。



稲城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成 27 年 8 月)収録内容と最新の将来人口推計の比較から、現在把握している将来人口推計と、最新の将来人口推計のギャップを確認します。平成 27 年版(平成 22(2010)年の国勢調査によるもの)と、最新版(平成 27 年の国勢調査によるもの)の比較から、人口増加のピークが 10 年早まっているといえます。さらに令和 2 年 1 月末時点の実人口はこの推計を上回っていることから、ピークアウトが訪れるのはより早まる可能性も考えられます。そうなってから手を打つと、大変な労力が必要となります。今のうちから、特に小規模な事業者に対する支援に本腰を入れないと、稲城の商業環境は非常に殺伐としたものになってしまう事でしょう。小さいながらも輝こうとして頑張る人々に対する投資が必要です。

稲城市 稲城市商工会  
稲城市商業活性化プラン策定事業委員会

